

問1 十七条の憲法の第一条には「和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗（むね）とせよ」とあり、また第三条には「天皇の命令を受けたならば、必ずつつしんで従いなさい」という趣旨の内容が記されています。このように、この法が道徳的な教えを通じて役人の心得を説いた主な目的は何ですか。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 有力な豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整えるため。
2. 仏教を国の宗教として強制し、大きな寺院を建立するための労働力を確保するため。
3. 唐や新羅などの外国からの侵略に備えるため、武士の団結を強めて軍事を高めるため。
4. 土地や人民はすべて国家のものであるという「公地公民」の原則を、民衆に徹底させるため。

問2 7世紀半ば、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を広げ、百済を滅ぼしました。これを受けて、当時の日本（倭国）がとった行動とその結果として正しいものはどれですか。 (2015年 佐賀公立入試 類似)

1. 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。
2. 高句麗の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。
3. 唐と結んで朝鮮半島での権益を確保しようとしたが、白村江の戦いで新羅の軍勢に敗北した。
4. 元（モンゴル帝国）の侵攻を阻止するために朝鮮半島へ出兵したが、文永の役で大敗を喫した。

問3 894年に菅原道真の建議によって遣唐使の派遣が停止されましたが、その背景として当時の中国や東アジアの情勢を正しく説明しているものを選びなさい。 (2023年 秋田県公立入試 類似)

1. 派遣先の王朝が衰退して国力が弱まり、往復の航海に伴う危険に見合う成果が得られにくくなったため
2. モンゴル帝国の勢力が拡大し、日本に対して服属を求める圧力が強まったため
3. 中国で仏教が弾圧され、日本が求める最新の仏教文化を学ぶことが不可能になったため
4. 平氏による日宋貿易が盛んになり、公的な使節を送らなくても物資が十分に入るようになったため

問4 仏教の伝来によって寺院建築が本格化した際、大規模な木材の需要が発生しました。近畿地方において巨木が枯渇し、森林の伐採規制が行われる要因の一つともなった、世界最古の木造建築を持つ寺院について述べた文として正しいものはどれか。

(2024年 長野県公立入試 類似)

1. 聖徳太子によって建立され、飛鳥時代の文化を現代に伝えている。
2. 聖武天皇の命により、仏教の力で国を守るために全国に建てられた。
3. 最澄が比叡山に開き、平安時代を通じて新しい仏教の拠点となった。
4. 鎌倉時代、北条氏が中国から僧を招いて禅宗を広めるために建立した。

問5 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が推古天皇の摂政として政治を行っていた時期に定められた「冠位十二階」の制度について、その目的を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2019年 長崎県公立入試 類似)

1. 家柄にとらわれず、能力や功績のある人物を役人に登用するため
2. 有力な豪族に対し、代々特定の役職に就く特権を認めるため
3. 戸籍を作成して人々に土地を割り当て、税の徴収を確実にするため
4. 仏教の教えを政治の基本とし、国全体の道徳を高めるため

問6 6世紀末、日本初の女性天皇である推古天皇が即位した際、天皇を助けて政治を行う「摂政」という役職に就き、有力豪族と協力して天皇中心の国づくりを進めた人物は誰ですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)

1. 聖徳太子
2. 中大兄皇子
3. 中臣鎌足
4. 足利義満

問7 飛鳥時代から奈良時代へと至る時期に起きた次の4つの出来事について、時期の古いものから順に正しく並んでいるものはどれか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)

1. 聖徳太子による法隆寺の建立 → 中大兄皇子らによる蘇我氏の打倒 → 白村江の戦いで敗北 → 壬申の乱
2. 中大兄皇子らによる蘇我氏の打倒 → 聖徳太子による法隆寺の建立 → 壬申の乱 → 白村江の戦いで敗北
3. 聖徳太子による法隆寺の建立 → 白村江の戦いで敗北 → 壬申の乱 → 中大兄皇子らによる蘇我氏の打倒
4. 白村江の戦いで敗北 → 壬申の乱 → 聖徳太子による法隆寺の建立 → 聖武天皇による国分寺建立の詔

問8 聖徳太子の摂政就任から平安京遷都に至る日本の古代政治史において、645年の大化の改新よりも後に起きたできごととはどれか。次の中から選びなさい。 (2019年 香川県公立入試 類似)

1. 大宝律令の制定
2. 十七条の憲法の制定
3. 冠位十二階の制定
4. 最初の遣唐使の派遣

答え合わせ・解説

問1	答え 1 有力な豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整えるため。	当時の日本は、有力な豪族がそれぞれ勢力を持ち、互いに争うことも少なくありませんでした。聖徳太子は、国家を一つの組織としてまとめるために、役人が守るべき道徳規範を示す必要があると考えました。豪族たちが「和」を重んじて対立を避け、最高権威である天皇に従うという秩序を作ることで、天皇を頂点とする組織的な統治（中央集権化）を推し進めようとしたのがこの法の背景です。
問2	答え 1 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。	当時の朝鮮半島では、唐と新羅が連合して百済や高句麗を圧迫していました。660年に百済が滅亡すると、日本は古くから交流のあった百済の再興を助けるために朝鮮半島へ出兵しました。しかし、663年に錦江の河口付近（白村江）で行われた戦いにおいて、唐・新羅の連合軍に圧倒的な軍事力の差で敗れました。これにより、日本は朝鮮半島における拠点完全に失うこととなりました。
問3	答え 1 派遣先の王朝が衰退して国力が弱まり、往復の航海に伴う危険に見合う成果が得られにくくなったため	9世紀後半の唐では、国内で反乱が相次ぐなど政治的な混乱が続いて衰退しており、日本が学ぶべき魅力が薄れていました。また、東シナ海を渡る航海は非常に命がけであったため、菅原道真是費用やリスクに対して得られるメリットが少ないと判断し、派遣の中止を提案しました。これがきっかけとなり、日本の独自の風土に合わせた国風文化が発展することになります。
問4	答え 1 聖徳太子によって建立され、飛鳥時代の文化を現代に伝えている。	飛鳥時代に建立された法隆寺は、現存する世界最古の木造建築物です。仏教伝来によりそれまでの縦穴住居などは異なる巨大な木造建築（寺院）が造られるようになり、建築用木材として多くの巨木が切り出されました。その結果、周辺地域での森林資源の枯渇を招き、後の時代における資源管理の重要性が認識されるきっかけにもなりました。
問5	答え 1 家柄にとらわれず、能力や功績のある人物を役人に登用するため	それまでの日本の政治では、特定の氏族が代々決まった役職を引き継ぐ「氏姓制度」が中心でしたが、聖徳太子は個人の実力を重視するこの制度を導入しました。これにより、天皇に従順で有能な人材を役人として集め、天皇中心の国づくりを進める狙いがありました。選択肢にある土地の割り当ては、後の「班田収授法」の内容です。
問6	答え 1 聖徳太子	飛鳥時代、推古天皇の摂政となった聖徳太子は、有力豪族である蘇我馬子と協力して政治を行いました。この時期には、家柄ではなく能力で役人を登用する官位十二階や、役人の心得を示した十七条の憲法が制定され、中央集権国家の基礎が築かれました。中大兄皇子や中臣鎌足は、後の時代に蘇我氏を倒して大化の改新を進めた人物です。
問7	答え 1 聖徳太子による法隆寺の建立 → 中大兄皇子らによる蘇我氏の打倒 → 白村江の戦いで敗北 → 壬申の乱	まず7世紀初頭、聖徳太子によって法隆寺が建立されました。その後、645年に中大兄皇子らが蘇我氏を倒して大化の改新が始まり、663年に朝鮮半島での白村江の戦いに敗れました。天智天皇（中大兄皇子）の死後、672年に皇位継承をめぐる起きた内乱が壬申の乱です。聖武天皇による国分寺建立の詔は、さらに後の奈良時代の出来事です。当時の日本が対外的な敗戦や内部の争いを経て、天皇中心の律令国家を形成していった流れを理解することが重要です。
問8	答え 1 大宝律令の制定	大化の改新（645年）によって始まった天皇中心の国づくりは、その後の律令制度の整備へと繋がります。大宝律令が制定されたのは701年であり、聖徳太子による改革（十七条の憲法、冠位十二階、遣隋使の派遣など）は大化の改新より以前のできごとです。

問1 7世紀初頭の飛鳥時代に建立された、現存する世界最古の木造建築物として知られる、この時代の仏教文化を代表する寺院の名称を選びなさい。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 法隆寺 2. 東大寺 3. 平等院鳳凰堂 4. 延暦寺

問2 7世紀中頃の東アジア情勢において、唐と新羅の連合軍に攻められた百済を救援するため、日本が朝鮮半島へ大軍を派遣して戦い、大敗した出来事を何というか。（2019年 島根公立入試 類似）

1. 白村江の戦い 2. 文永の役 3. 刀伊の入寇 4. 元寇

問3 奈良県にある、金堂や五重塔を備えた現存する世界最古の木造建築物として知られる法隆寺を建立し、仏教を基盤とした飛鳥文化を象徴する人物として最も適切な人物は誰ですか。（2016年 岐阜公立入試 類似）

1. 聖徳太子 2. 天武天皇 3. 聖武天皇 4. 藤原道長

問4 日本の古代国家の成立期において、現在の奈良県に相当する内陸部に置かれた「藤原京」の歴史的背景を説明したものととして、最も適切なものを選んでください。この地域は、西に大阪湾、東に伊勢湾、北に琵琶湖を臨む近畿地方の中心部に位置しています。（2022年 大阪公立入試 類似）

1. 大宝律令の制定によって律令国家の仕組みが整えられた時期の都であり、本格的な官僚機構を備えていた。
2. 仏教による国家の安定を目指し、東大寺の建立や国分寺の設置が全国的に進められた時期の都である。
3. 白村江の戦いでの敗北を受け、国防のために内陸部のより安全な場所へ急速移転された宮殿である。
4. 摂関政治の全盛期にあたり、貴族たちが豪華な邸宅を構えて国風文化を育んだ政治的拠点である。

問5 聖徳太子が定めた十七条の憲法の目的や内容について、当時の時代背景を踏まえて説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2023年 岐阜公立入試 類似）

1. 仏教や儒教の教えを役人の道德的規範とすることで、天皇を中心とした国家体制の確立を目指した。
2. 唐の律令制度をそのまま導入し、土地や人民を国家が直接支配する公地公民の原則を確立した。
3. 武士の間で起こる領地争いを公平に裁くため、日本で初めての武家独自の裁判基準を示した。
4. 身分に関わらず才能のある人物を役人に登用するため、位階によって帽子の色を分ける制度を整えた。

問6 法隆寺の建築に見られる特徴や背景について説明したものととして、歴史的事実に基づき最も適切な記述を選んでください。

（2024年 愛媛公立入試 類似）

1. 中国や朝鮮半島など大陸からの影響を強く受けた、日本で最初の本格的な仏教文化の特色を色濃く残している。
2. 平安時代の貴族たちが好んだ日本独自の様式である「寝殿造」を取り入れ、庭園との調和を重視している。
3. 鎌倉時代に武士の間で流行した禅宗の影響を受け、装飾を排した質実剛健な造りとなっている。
4. 室町時代の文化背景をもとに、現代の和風建築の原型となった「書院造」の様式で建てられている。

問7 日本の歴史において、古代の律令国家の形成期と、近代の明治維新期の両方で共通して見られた「中央集権体制」の構築に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。（2024年 福井公立入試 類似）

1. 地方の有力者が所有する私有地を認め、その土地の管理を各地域に任せることで国家の安定を図った。
2. それまで地方の有力者が個別に支配していた土地や人民を、国家や天皇が直接支配することを目指した。
3. 権限を地方の役所に分散させることで、地域の事情に合わせた柔軟な政治運営を行おうとした。
4. 武士や貴族が土地を世襲的に支配する権利を強化し、身分制度に基づく統治を徹底した。

問8 聖徳太子が建立した法隆寺に代表される、日本で最初の本格的な仏教文化について、その名称として正しいものを選びなさい。（2024年 三重公立入試 類似）

1. 飛鳥文化 2. 天平文化 3. 国風文化 4. 東山文化

問9 7世紀初めの607年、推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸皇子）は、小野妹子らを中国へ派遣しました。大陸の優れた制度や文化を直接取り入れるために送られた、この使節の名称を答えなさい。（2026年 青森公立入試 類似）

1. 遣隋使 2. 遣唐使 3. 遣新羅使 4. 遣渤海使

答え合わせ・解説

問1	答え 1 法隆寺	飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）によって建立されたとされる寺院で、現存する世界最古の木造建築物としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。この時代の文化は飛鳥文化と呼ばれ、中国や朝鮮半島など大陸の技術や仏教の影響を強く受けているのが特徴です。
問2	答え 1 白村江の戦い	663年に朝鮮半島の白村江で行われた、日本（倭）・百済遺民連合軍と、唐・新羅連合軍による戦いです。この戦いで大敗した日本は、唐や新羅による日本本土への侵攻を恐れ、九州に水城を築いたり、防人を配置したりして国防を強化するとともに、都を近江の大津宮へ移すなどの対応を迫られました。
問3	答え 1 聖徳太子	飛鳥時代において仏教を深く崇敬し、厚く保護したことで知られています。建立された法隆寺は、当時の優れた建築技術を今に伝えるだけでなく、大陸から伝わった仏教の教えに基づき、国を治めようとしたこの人物の政治理念を反映した歴史的建造物です。
問4	答え 1 大宝律令の制定によって律令国家の仕組みが整えられた時期の都であり、本格的な官僚機構を備えていた。	藤原京の時代は、まさに「律令国家」の完成期にあたります。701年に大宝律令が制定され、天皇を中心とした中央集権的な統治制度が確立されました。藤原京はそのような複雑な行政組織を収容するために、日本で初めて本格的な条坊制（碁盤の目状の区画）を採用した都として建設されました。他の選択肢は、平城京（聖武天皇）、飛鳥時代の防衛、または平安京の記述であり、時代背景が異なります。
問5	答え 1 仏教や儒教の教えを役人の道徳的規範とすることで、天皇を中心とした国家体制の確立を目指した。	十七条の憲法は、法的な罰則よりも役人が守るべき精神的な規範に重点が置かれています。「和を以て貴しとなす」という言葉に代表されるように、豪族同士の争いを戒め、仏教や儒教の教えを通じて天皇への忠誠を促すことで、中央集権的な国家を築こうとする意図がありました。
問6	答え 1 中国や朝鮮半島など大陸からの影響を強く受けた、日本で最初の本格的な仏教文化の特色を色濃く残している。	法隆寺が建立された飛鳥時代は、仏教の伝来とともに、中国（南北朝時代や隋）や朝鮮半島の百済などの技術が積極的に導入された時期です。法隆寺の柱に見られる「エンタシス（中央のふくらみ）」などの特徴は、遠くギリシャの神殿建築の影響がシルクロードを経て伝わったものと言われており、当時の国際色豊かな文化背景を示しています。寝殿造や書院造は、より後世の時代に成立した建築様式です。
問7	答え 2 それまで地方の有力者が個別に支配していた土地や人民を、国家や天皇が直接支配することを目指した。	律令国家における「公地公民」の原則と、明治新政府による「版籍奉還」や「廃藩置県」は、どちらも土地と人民の支配権を中央へ集中させることを目的とした政策です。古代では豪族、近代では大名という、それまでの地方支配者の権利を否定し、中央政府が直接的に国民を統治し、税を徴収する仕組み（中央集権体制）を整えようとした点が共通しています。
問8	答え 1 飛鳥文化	7世紀前半、聖徳太子が政治を執り行った時代を中心に栄えた文化を飛鳥文化と呼びます。法隆寺の建築や仏像などには、中国の南北朝時代の文化や、さらに西方のインドやギリシャの影響も見て取ることができます。
問9	答え 1 遣隋使	聖徳太子は、中国を統一した隋に対して小野妹子らを派遣しました。それまでの朝鮮半島を経由した交流だけでなく、中国と直接交渉を持つことで、先進的な仏教文化や政治制度を効率的に導入しようと試みました。これにより、冠位十二階や十七条の憲法といった、天皇を中心とする国づくりのための改革が進められることとなりました。

問1 飛鳥時代から平安時代にかけて、日本の朝廷は先進的な制度や文化を学ぶために中国へ使節を派遣しました。この使節の名称にも使われており、日本の律令国家形成に大きな影響を与えた中国の王朝名を選びなさい。（2023年 秋田県公立入試 類似）

1. 唐 2. 隋 3. 宋 4. 元

問2 7世紀後半、天智天皇の死後に発生した後継者争いである壬申の乱に勝利し、天皇を中心とする強力な国家の建設を推し進めた人物は誰ですか。（2022年 福岡県公立入試 類似）

1. 天武天皇 2. 聖武天皇 3. 桓武天皇 4. 藤原道長

問3 天智天皇が「庚午年籍（こうごねんじゃく）」と呼ばれる日本で最初の全国的な戸籍を作成した最大の目的は、どのような点にありましたか。当時の社会背景を踏まえて、最も適切な理由を選びなさい。（2018年 埼玉県公立入試 類似）

1. 全国の人民の名前や住所を把握することで、公平に土地を分け与えるとともに、兵役や税を確実に課すための基礎とするため。
2. 仏教による国家の安定を目指し、全国の寺院に住む僧侶の数や修行の状況を把握して管理するため。
3. 遣隋使や遣唐使として渡航する優秀な人材を見極めるため、氏姓制度に基づいた豪族の家系図を整理するため。
4. 大規模な干拓事業や東大寺の建立にあたり、必要な労働力を確保するために浮浪化した農民を強制的に連れ戻すため。

問4 7世紀初めの飛鳥時代において、推古天皇の摂政である聖徳太子が、豪族の蘇我馬子と協力して行った政治や外交の説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 中国の進んだ制度や文化を取り入れるため、小野妹子らを遣隋使として派遣した。
2. 律令制度を完成させるため、中臣鎌足とともに大化の改新に着手した。
3. 唐の制度にならって平城京を建設し、最澄や空海を遣唐使とともに随行させた。
4. 仏教を広めるために鑑真を日本に招き、東大寺に大仏を建立して国を治めようとした。

問5 白村江の戦いでの敗北後、天武天皇が全国的な戸籍を整備し、中央集権体制の構築を急いだ目的や背景として最も適切な説明はどれですか。（2024年 鳥取公立入試 類似）

1. 人々の身分と居住地を正確に把握することで、天皇が民衆を直接支配し、防人などの徴兵や税の徴収を確実にするため
2. 有力な地方豪族に土地の私有を認めることで、地方の開墾意欲を高め、国家全体の生産力を向上させるため
3. 仏教の力を借りて国家の災いを取り除くため、全国に国分寺や国分尼寺を建立する資金源を確保するため
4. 唐にならって商業を盛んにするため、和同開珎などの貨幣を発行し、市場での取引を全国的に管理するため

問6 日本の古代における国防政策について述べた次の文のうち、当時の国際情勢に基づいた建設の背景・目的として、最も適切な説明はどれですか。なお、この時期には朝鮮半島に近い北九州から大宰府周辺、さらには瀬戸内海沿岸にかけて、山城や水城といった施設が集中して建設されていました。（2019年 島根公立入試 類似）

1. 白村江の戦いで敗れた後、唐や新羅による日本本土への報復や侵攻に備えるため
2. 壬申の乱における軍事的な混乱を収束させ、中央集権体制を確立するため
3. 新羅と結んで高句麗を滅ぼした後、大陸へのさらなる領土拡大を狙うため
4. 磐井の乱などの国内の反乱を抑え込み、九州地方の豪族を支配下に置くため

問7 飛鳥時代において、聖徳太子（厩戸王）を摂政に任命し、協力して天皇を中心とした国づくりを進めた日本初の女性天皇は誰ですか。（2026年 静岡公立入試 類似）

1. 推古天皇 2. 持統天皇 3. 天武天皇 4. 天智天皇

問8 大宝律令のもとでの人々の負担について記した資料によると、口分田を与えられた農民には、収穫した稲の約3%を納める「租」のほかに、布や特産品を納める負担や、九州の北海岸を警備する「防人」などの兵役が課されていました。このような制度が整えられた主な目的として、最も適切なものはどれか。（2020年 広島公立入試 類似）

1. 公地公民の原則に基づき、国家が土地と人民を直接支配して税収や軍事力を確保するため。
2. 有力な農民に土地の私有を認めることで、地方の開墾を促進し、農業生産力を高めるため。
3. 土地を所有する権利を証明する「地券」を発行し、税制を金納に統一して財政を安定させるため。
4. 地主から土地を買い上げて小作人に安く売り渡すことで、農村の貧富の差を解消するため。

問9 聖徳太子が建立した法隆寺に代表される、日本で最初の本格的な仏教文化について、その名称として正しいものを選びなさい。（2024年 三重公立入試 類似）

1. 飛鳥文化 2. 天平文化 3. 国風文化 4. 東山文化

答え合わせ・解説

問1	答え 1 唐	聖徳太子の時代の遣隋使に続き、日本では大化の改新から平安時代の中期にかけて「遣唐使」が派遣されました。日本はこの王朝の優れた政治制度である律令や、仏教、儒教などの文化を吸収することで、中央集権的な国家体制を整えていきました。選択肢にある隋は唐の前の王朝、宋や元は唐よりも後の時代の王朝です。
問2	答え 1 天武天皇	天智天皇の弟である大海人皇子が、天智天皇の子である大友皇子を倒した壬申の乱を経て即位しました。この勝利により強大な権力を手にしたことで、豪族を抑えて天皇に権力を集中させ、律令国家の基礎を固めることが可能となりました。
問3	答え 1 全国の人民の名前や住所を把握することで、公平に土地を分け与えるとともに、兵役や税を確実に課するための基礎とするため。	大化の改新から始まった「公地公民」の原則を具体化するためには、政府が直接人民を把握する必要がありました。天智天皇が作成した庚午年籍は、人民に口分田を与えて耕作させ（班田収授）、代わりに税（租・庸・調）や兵役（防人など）を課するための台帳として機能しました。特に当時の日本は唐や新羅の脅威にさらされていたため、兵力を確保するための人民把握は急務でした。
問4	答え 1 中国の進んだ制度や文化を取り入れるため、小野妹子らを遣隋使として派遣した。	聖徳太子は推古天皇の摂政として、蘇我馬子と協力して天皇中心の政治を目指しました。その一環として、当時中国を統一していた隋の高度な文化や制度を学ぶため、607年に小野妹子を遣隋使として派遣しました。中臣鎌足は大化の改新、遣唐使は隋の後の唐に送られた使節、鑑真や大仏建立は奈良時代の出来事であり、時期や人物が異なります。
問5	答え 1 人々の身分と居住地を正確に把握することで、天皇が民衆を直接支配し、防人などの徴兵や税の徴収を確実にするため	対外的な危機に際し、日本を一つの強力な国家としてまとめる必要がありました。戸籍の作成は、それまで豪族が私有していた「民」を「公民」として国が直接管理することを意味します。これにより、誰がどこに住んでいるかを把握し、軍事的な防衛力の確保（徴兵）や、国家運営に必要な租・庸・調といった税を安定して集めることが可能になりました。これが律令国家における中央集権体制の根幹となりました。
問6	答え 1 白村江の戦いで敗れた後、唐や新羅による日本本土への報復や侵攻に備えるため	663年の白村江の戦いにおいて、日本は百済復興を支援したものの唐・新羅の連合軍に敗北しました。これにより、勝利した唐や新羅が日本へ攻め込んでくる可能性が高まったため、当時の政権は国家の存亡をかけて国防を強化しました。北九州から大宰府にかけて防衛施設が集中しているのは、そこが地理的に大陸から最も近く、侵攻ルートになることが予想されたためです。
問7	答え 1 推古天皇	592年に即位した推古天皇は、甥である聖徳太子を「摂政」という役職に就け、共同で政治を行いました。この時期には冠位十二階や十七条の憲法の制定、遣隋使の派遣など、中国（隋）の制度を取り入れた重要な政策が次々と打ち出されました。
問8	答え 1 公地公民の原則に基づき、国家が土地と人民を直接支配して税収や軍事力を確保するため。	律令国家は、土地と人民はすべて天皇（国家）のものであるという「公地公民」の思想を基本としていました。班田収授法によって人々に口分田を配分する見返りとして、租・調・庸といった税や兵役などの重い義務を課し、中央集権的な国家体制の財政と防衛を支えようとした。
問9	答え 1 飛鳥文化	7世紀前半、聖徳太子が政治を執り行った時代を中心に栄えた文化を飛鳥文化と呼びます。法隆寺の建築や仏像などには、中国の南北朝時代の文化や、さらに西方のインドやギリシャの影響も見て取ることができます。

問1 7世紀前半の推古天皇の時代、聖徳太子（厩戸王）らによって進められた国家体制の整備とともに発展した飛鳥文化について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 京都公立入試 類似）

1. 現存する世界最古の木造建築物とされる法隆寺が建立され、大陸の影響を受けた仏教文化が花開いた。
2. 最澄によって比叡山に延暦寺が建てられ、平安京を守護する国家仏教としての役割を果たした。
3. 藤原頼通によって宇治に平等院鳳凰堂が建立され、極楽往生を願う浄土信仰が貴族の間に広まった。
4. 奥州藤原氏が陸奥国の平泉に中尊寺金色堂を建立し、北方の地における仏教の理想郷を目指した。

問2 663年に朝鮮半島で行われた白村江の戦いにおいて、百済の復興を支援した倭（日本）の軍勢が唐・新羅の連合軍に大敗したのち、大和政権が日本本土への侵攻に備えて講じた防衛策として最も適切なものはどれですか。（2025年 奈良公立入試 類似）

1. 九州北部の沿岸部に水城や朝鮮式山城を築き、防人を配置した。
2. 東北地方に多賀城を築き、蝦夷の反乱に備えて鎮守府を置いた。
3. 元寇の襲来に備えて、博多湾の沿岸に石造りの防塁を築いた。
4. 平安京を守るために、検非違使を設置して治安維持にあたらせた。

問3 大化の改新で示された「公地公民」の制度が、のちに崩れていく要因となった出来事について説明したものととして、最も適切なものはどれか。（2021年 和歌山公立入試 類似）

1. 人口の増加にともなう土地不足を解消するため、開墾した土地の永年私有を認める「墾田永年私財法」が出されたこと。
2. 武士が各地の土地を支配し、年貢の徴収権を確保するために「武家諸法度」を定めて統制を強めたこと。
3. 明治新政府が土地の所有権を認め、地価の3%を現金で納めさせる「地租改正」を実施したこと。
4. 聖徳太子が冠位十二階を定め、氏姓制度にとらわれず個人の能力によって役人を登用し始めたこと。

問4 7世紀半ばの朝鮮半島は、北部の高句麗、東部の新羅、南西部の百済が対立していました。白村江の戦いにおいて、日本が支援した国と、日本が戦った連合軍の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 香川公立入試 類似）

1. 支援した国：百済、連合軍：唐・新羅
2. 支援した国：新羅、連合軍：唐・百済
3. 支援した国：高句麗、連合軍：隋・新羅
4. 支援した国：百済、連合軍：高句麗・新羅

問5 飛鳥時代、聖徳太子が小野妹子を中国の隋に派遣した歴史的背景と目的の説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 大陸の進んだ制度や仏教文化を直接取り入れ、天皇を中心とした政治制度を整えるため。
2. 白村江の戦いでの敗北を受けて、唐や新羅の侵攻に備えた外交交渉を行うため。
3. 菅原道真の提言に基づき、形式的な外交を廃止して国内の政治改革に専念するため。
4. 阿倍仲麻呂を隋の皇帝に紹介し、日本の律令制度が完成したことを報告するため。

問6 「和を以て貴しとなし」という言葉から始まり、仏・法・僧の三宝を敬うことや、天皇の命令を受けた際には必ずそれに従うべきことなどが役人の心得として示された、聖徳太子（厩戸王）が定めたとされる規範を何といいますか。（2022年 秋田県公立入試 類似）

1. 十七条の憲法
2. 大宝律令
3. 御成敗式目
4. 武家諸法度

問7 645年に始まった政治改革において、中大兄皇子らが進めた「天皇を中心とした国づくり」の具体的な内容として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 愛媛公立入試 類似）

1. 土地や人民は豪族が私有するのではなく、すべて国家のものとする公地公民の原則を打ち出した
2. 地方の豪族に土地の支配権を完全に委ねることで、各地域の農業生産力を向上させた
3. 武士の力を結集して幕府を開き、貴族に代わって武家が政治の主導権を握る仕組みを作った
4. 実力のある人物を役人に登用するため、冠位十二階の制度をより強化して豪族の特権を認めた

問8 大化の改新の中心人物であった中大兄皇子が、のちに即位して天智天皇となった際に、律令国家の基礎を築く目的で作成した日本最初の全国的な戸籍の名称として正しいものを選びなさい。（2021年 滋賀公立入試 類似）

1. 庚午年籍
2. 庚寅年籍
3. 班田収授法
4. 十七条の憲法

問9 663年に朝鮮半島で起こった白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、大和政権は九州の防衛を強化しました。このとき、博多湾から太宰府へ侵攻してくる敵を防ぐために築かれた、全長約1.2kmに及ぶ大規模な土塁と堀で構成された防衛施設を何といいますか。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 水城
2. 防人
3. 山城
4. 烽火

答え合わせ・解説

問1	答え 1 現存する世界最古の木造建築物とされる法隆寺が建立され、大陸の影響を受けた仏教文化が花開いた。	法隆寺は聖徳太子によって建立されたと伝えられる奈良県斑鳩の寺院で、その西院伽藍は現存する世界最古の木造建築群として知られています。この時期の文化は「飛鳥文化」と呼ばれ、中国や朝鮮半島、さらにはその先の西アジアなどの影響を受けた国際色豊かな仏教文化であることが特徴です。他の選択肢にある延暦寺は平安時代初期、平等院鳳凰堂は平安時代中期、中尊寺金色堂は平安時代末期の建築物であり、時代背景が異なります。
問2	答え 1 九州北部の沿岸部に水城や朝鮮式山城を築き、防人を配置した。	白村江の戦いで敗北後、大和政権は唐や新羅による日本本土への報復的な侵攻を強く恐れました。そのため、対馬や九州北部に「防人（さきもり）」と呼ばれる兵士を配置し、大宰府の北側に「水城（みずき）」という巨大な土塁を、さらに周辺の山々に朝鮮式山城を築くことで、防衛体制を急ピッチで整えました。
問3	答え 1 人口の増加にともなう土地不足を解消するため、開墾した土地の永年私有を認める「墾田永年私財法」が出されたこと。	公地公民の原則では、土地はすべて国家のものでしたが、人口の増加によって人々に与える「口分田」が不足しました。そこで政府は、743年に「墾田永年私財法」を制定し、新しく開墾した土地の私有を永代にわたって認めました。これにより貴族や寺社が大規模な私有地（荘園）を持つようになり、公地公民の原則は次第に崩れていきました。
問4	答え 1 支援した国：百済、連合軍：唐・新羅	当時の東アジアでは、中国大陸を統一した唐が勢力を拡大しており、朝鮮半島では新羅が唐と結んでいました。日本は古くから交流のあった百済の復興を助けるために参戦しましたが、唐と新羅の強力な連合軍に敗れました。
問5	答え 1 大陸の進んだ制度や仏教文化を直接取り入れ、天皇を中心とした政治制度を整えるため。	聖徳太子は冠位十二階や十七条の憲法を制定し、豪族中心の政治から天皇中心の政治への転換を図っていました。遣隋使の派遣は、その改革のモデルとなる中国の高度な政治制度や、国家の精神的支柱としての仏教を学ぶための重要な外交手段でした。選択肢にある菅原道真は遣唐使の停止を提言した人物であり、阿倍仲麻呂は遣唐使として渡った人物なので、時代や背景が異なります。
問6	答え 1 十七条の憲法	飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子が、豪族たちに対して国家の役人としての自覚を促すために作成したものです。それまでの氏族単位の政治から、天皇を中心とした中央集権的な国家体制へと移行するための道徳的な規範として機能しました。この中では、儒教や仏教の教えが取り入れられています。
問7	答え 1 土地や人民は豪族が私有するのではなく、すべて国家のものとする公地公民の原則を打ち出した	大化の改新では、当時の中国（唐）の制度を参考に、それまで豪族が個別に支配していた土地や人民を国家が直接管理する「公地公民」の制度を目指しました。これにより、全国的な徴税や戸籍の作成が可能になり、天皇による中央集権体制の基礎が築かれました。
問8	答え 1 庚午年籍	天智天皇は、670年に日本で初めてとなる全国的な戸籍である「庚午年籍（こうごねんじゃく）」を作成しました。これは、国家が民衆の氏姓や人数を正確に把握することで、安定した税の徴収や徴兵を行うための重要な基盤となりました。後の天武天皇の時代に作られた「庚寅年籍」と混同しないよう注意が必要です。
問9	答え 1 水城	白村江の戦いで敗北した大和政権は、唐や新羅による日本本土への侵攻を強く警戒しました。特に九州の政治・外交の拠点であった太宰府を守るため、その北側に巨大な堤防のような土塁を築き、さらに外側に水を蓄えた堀を設けることで、博多湾方面からの敵の進入を阻止しようとした。この施設は「水城」と呼ばれ、現在の福岡県にその遺構が残っています。

中学歴史プリント（過去問類似）

飛鳥時代

名前

得点

/10

問1 飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子が定めた「冠位十二階」という制度について、その目的と仕組みを正しく説明しているものはどれですか。（2016年 千葉県公立入試 類似）

1. 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に登用することを目的とし、その地位を冠の色などで示した。
2. 有力な豪族の家柄を重視し、世襲によって代々高い役職を独占させることで、政治の安定を図った。
3. 土地と人民をすべて国家のものとし、位階に応じて区分田を割り当てることで、税制の基礎を築いた。
4. 各氏族に対し、その功績に応じて「姓（かばね）」を授けることで、天皇を中心とする身分秩序を固定した。

問2 飛鳥時代において、家柄にとらわれず個人の才能や功績がある者を役人として登用するために、冠の色によって位の高さを示した制度を何といいますか。（2020年 京都公立入試 類似）

1. 冠位十二階
2. 墾田永年私財法
3. 万葉集の編纂
4. 枕草子の執筆

問3 7世紀の初め、聖徳太子（厩戸王）が推古天皇の摂政として政治を行っていた時期に、中国の進んだ制度や文化を取り入れるために派遣された使節を何といいますか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 遣隋使
2. 遣唐使
3. 日宋貿易船
4. 朝鮮通信使

問4 4世紀から7世紀にかけての朝鮮半島において、北部の高句麗や南東部の新羅と対抗しながら、大和政権と緊密な関係を築いた南西部の国はどこですか。（2018年 岐阜公立入試 類似）

1. 百済
2. 新羅
3. 高句麗
4. 唐

問5 7世紀後半、朝鮮半島において唐と結ぶことで百済や高句麗を滅ぼし、半島を初めて統一した国を選びなさい。（2014年 和歌山公立入試 類似）

1. 新羅
2. 高句麗
3. 百済
4. 隋

問6 飛鳥時代から江戸時代までの日本の歩みを記した年表において、最も古い時期の大きな転換点として位置づけられる出来事について述べます。7世紀半ば、中大兄皇子や中臣鎌足らが、当時の政治で強大な力を持っていた蘇我氏を倒し、天皇を中心とした国づくりを目指して着手した政治改革を何といいますか。（2026年 愛媛公立入試 類似）

1. 大化の改新
2. 天保の改革
3. 寛政の改革
4. 建武の新政

問7 663年に朝鮮半島の西側沿岸部（現在の錦江の河口付近）で起きた白村江の戦いで敗れた後、日本国内で強化された防衛政策として正しいものはどれですか。（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 唐や新羅の侵攻を警戒し、対馬や北九州などに「防人」を配置し、水城や山城を築いた。
2. 唐との友好関係を回復させるため、最澄や空海を遣唐使として派遣し、大陸の文化を導入した。
3. 元（モンゴル帝国）の再来に備え、博多湾の沿岸に石築地（元寇防塁）を構築した。
4. 国内の武士を統制するために「御成敗式目」を制定し、軍事的な結束を固めた。

問8 飛鳥時代末期の701年に、唐の制度を参考にして制定された、日本で最初の本格的な法典を何といいますか。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. 大宝律令
2. 御成敗式目
3. 建武式目
4. 十七条の憲法

問9 7世紀初めに小野妹子らが使節として中国の隋へ送られた背景として、当時の日本が目指していたことについて述べたものとして最も適切な説明はどれですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 中国の進んだ制度や文化を学び、国家の仕組みを整えるため
2. 中国の皇帝から日本の王としての地位を認めてもらうため
3. 中国の軍事力を背景に、朝鮮半島の新羅を攻撃するため
4. 中国で流行していた禅宗の教えを、僧に学ばせるため

問10 天智天皇の時代、大宰府の周辺に「水城」や「大野城」といった大規模な防衛施設が相次いで築かれる直接のきっかけとなった歴史的な出来事として、正しいものはどれですか。（2023年 佐賀公立入試 類似）

1. 日本が百済の復興を支援するために朝鮮半島へ出兵したが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗したこと。
2. 聖徳太子が隋に遣隋使を派遣し、「日出づる処の天子」という対等な形式の国書を送ったことで緊張が高まったこと。
3. 新羅が日本に対して朝貢を拒否したため、日本が大規模な新羅征討計画を立てて軍備を増強したこと。
4. 元（モンゴル帝国）の軍勢が九州の博多湾に襲来し、それに対抗するために防塁を築いたこと。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に登用することを目的とし、その地位を冠の色などで示した。	聖徳太子は、従来の氏姓制度（家柄に基づく世襲制）による官僚登用から脱却し、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整えるため、個人の能力や功績を評価する仕組みを導入しました。これが冠位十二階です。この制度では、昇進が可能であることや、冠の色によって一目で地位が判別できるといった特徴がありました。
問2	答え 1 冠位十二階	聖徳太子（厩戸王）が推古天皇の摂政を務めていた時期に制定されました。それまでの「氏姓制度」のように家柄で地位が決まる仕組みを改め、能力のある人材を確保することで、天皇を中心とする中央集権的な国家体制を整える狙いがありました。
問3	答え 1 遣隋使	聖徳太子は、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を築くため、当時の中国の王朝である隋に使節を送りました。これが遣隋使です。その後、中国の王朝が交代すると遣唐使が派遣されるようになりますが、小野妹子が派遣された時点では隋が中国を統一していました。
問4	答え 1 百済	朝鮮半島の南西部に位置した百済は、北から圧力を強める高句麗や、隣接する新羅との勢力争いの中で、日本の大和政権と結びつきました。この交流を通じて、日本へ仏教や儒教といった当時の先進的な大陸文化が伝わりました。
問5	答え 1 新羅	4世紀頃から高句麗、百済、新羅の3国が勢力を争う三国時代が続いていましたが、7世紀に唐と結んだ新羅が660年に百済、668年に高句麗を相次いで滅ぼしました。その後、新羅は共同で戦った唐の勢力も退け、676年に朝鮮半島の統一を成し遂げました。
問6	答え 1 大化の改新	聖徳太子の死後、政治の実権を握り天皇をしのぐほどの勢力を持った蘇我氏に対し、中大兄皇子（後の天智天皇）と中臣鎌足（後の藤原鎌足）が協力して蘇我入鹿を暗殺したことからはじまった改革です。この改革によって、豪族による政治から天皇を中心とした中央集権的な国家体制への移行が図られました。
問7	答え 1 唐や新羅の侵攻を警戒し、対馬や北九州などに「防人」を配置し、水城や山城を築いた。	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した日本は、その後の報復や日本本土への侵攻を強く恐れました。そのため、天智天皇（中大兄皇子）は、対馬や舌岐、北九州などの国防の最前線に「防人（さきもり）」と呼ばれる兵士を配置するとともに、大宰府を守るための「水城（みずき）」や、朝鮮式山城を各地に築いて防衛体制を急いで整えました。また、都も内陸の大津宮（近江大津宮）へと移されました。
問8	答え 1 大宝律令	文武天皇の時代である701年に制定されました。これによって、刑罰に関する規定である「律」と、政治の仕組みに関する規定である「令」が整い、天皇を中心とする中央集権的な国家体制（律令国家）が確立されることとなりました。
問9	答え 1 中国の進んだ制度や文化を学び、国家の仕組みを整えるため	聖徳太子は冠位十二階や十七条の憲法を制定するなど、中央集権的な国家体制の確立を目指していました。遣隋使の派遣は、隋の高度な統治システムや仏教文化を直接吸収し、日本の政治改革に活かすことが大きな目的でした。また、中国の皇帝に対して対等な立場での外交を試みたことも特徴の一つです。
問10	答え 1 日本が百済の復興を支援するために朝鮮半島へ出兵したが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗したこと。	663年の白村江の戦いで敗戦により、当時の倭（日本）は唐や新羅による報復侵攻の脅威にさらされました。これに対処するため、中大兄皇子（後の天智天皇）は国防を最優先課題とし、対外窓口であり九州の行政拠点でもあった大宰府を守るために「水城」を築き、さらに亡命してきた百済の技術者の指導を得て、朝鮮式山城である大野城などを各地に設置しました。元の襲来は13世紀の出来事であるため混同に注意が必要です。